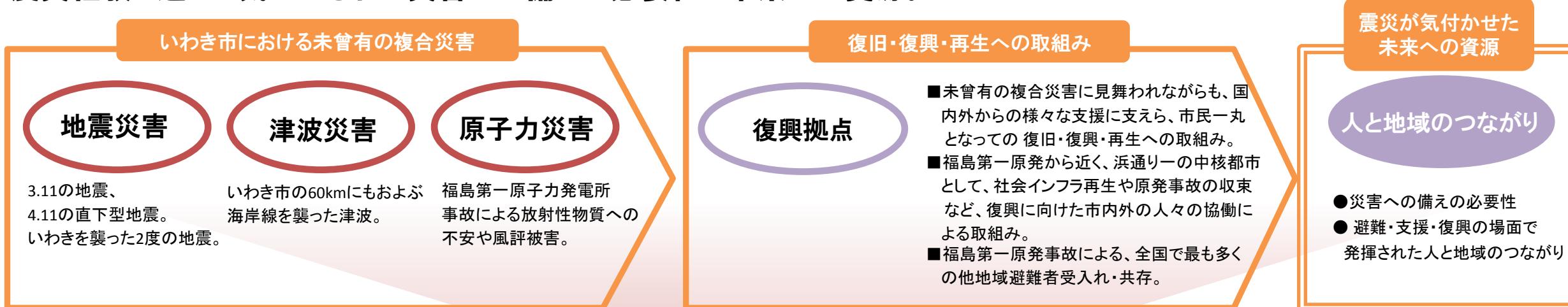


# 震災メモリアル事業 基本構想概略図

## いわき市における東日本大震災の経験

いわき市を襲った未曾有の複合災害と現在進行中の復興のあゆみ。

震災経験を通して気づかされた災害への備えの必要性と未来への資源。



## 震災メモリアル事業の基本的考え方

■ 目的 **震災の記憶や教訓を確実に伝承し、現在進行中の復興のあゆみを共有することで、災害に強く活力あふれるいわき市の未来をつくる**

### ■ 事業ミッション

震災の記録の保存と継承



危機意識や防災意識の醸成



追悼・鎮魂

### ■ 方向性

- 震災関連資料の収集・保存・継承のための場として、中核拠点施設を整備し、アーカイブを構築・公開する。
- 中核拠点施設において、アーカイブの資料を活用し、防災・減災教育を行う。
- 中核拠点施設を情報発信・交流の場と位置づけ、市内各地や周辺地域における復興に向けた取り組みを支援する。
- 将来的には、震災メモリアル事業を通して人と地域の結びつきを強化し、いわき市を中心とした“震災メモリアルネットワーク”の構築に貢献する。

## 基本理念

～いわきの復興と飛躍に向けた“みらい事業”～  
**震災の記憶と教訓を未来に伝え、  
災害に強いいわき市を築くとともに、復興に関わる人と地域をつなぐ**

## 基本方針

### アーカイブ 構築

**今も続くいわき市における未曾有の複合災害の記録を未来に伝えるアーカイブを構築する**

いわき市の震災関連資料を収集・保存・継承するアーカイブを構築し、未来へと震災の記録を伝える仕組みづくり。

### 学びの場 づくり

**震災の経験と教訓を未来につなぐ学びの場をつくる**

災害に強いいわきの未来につなげるため、震災の経験や記憶を継承するとともに、そこから教訓を導き出し、世代を超えて共有していく仕組みづくり。

### 復興・人材 育成支援

**各地域における復興に向けた取組みと未来を担う人材の育成を支援する**

復興事業やまちづくりの取組みについての情報発信を行い、市民や団体、防災・減災・まちづくりなどの学術関係者、観光客など来館者の交流を通じて、災害に強く活力あふれるいわきの未来を担う人材の育成を図る仕組みづくり。

### 震災遺産保存 地域振興

**震災遺産を入り口とした地域発見と発信を行い地域振興につなげる**

震災遺産の保存を図り震災の記憶の継承を図るとともに、それらを入り口とした地域再発見に人々を誘う仕組みづくり。

### 追悼と鎮魂

**追悼と鎮魂をおこなう**

震災で亡くなられた方々のために追悼・鎮魂をおこなう。

中核拠点施設の位置づけ

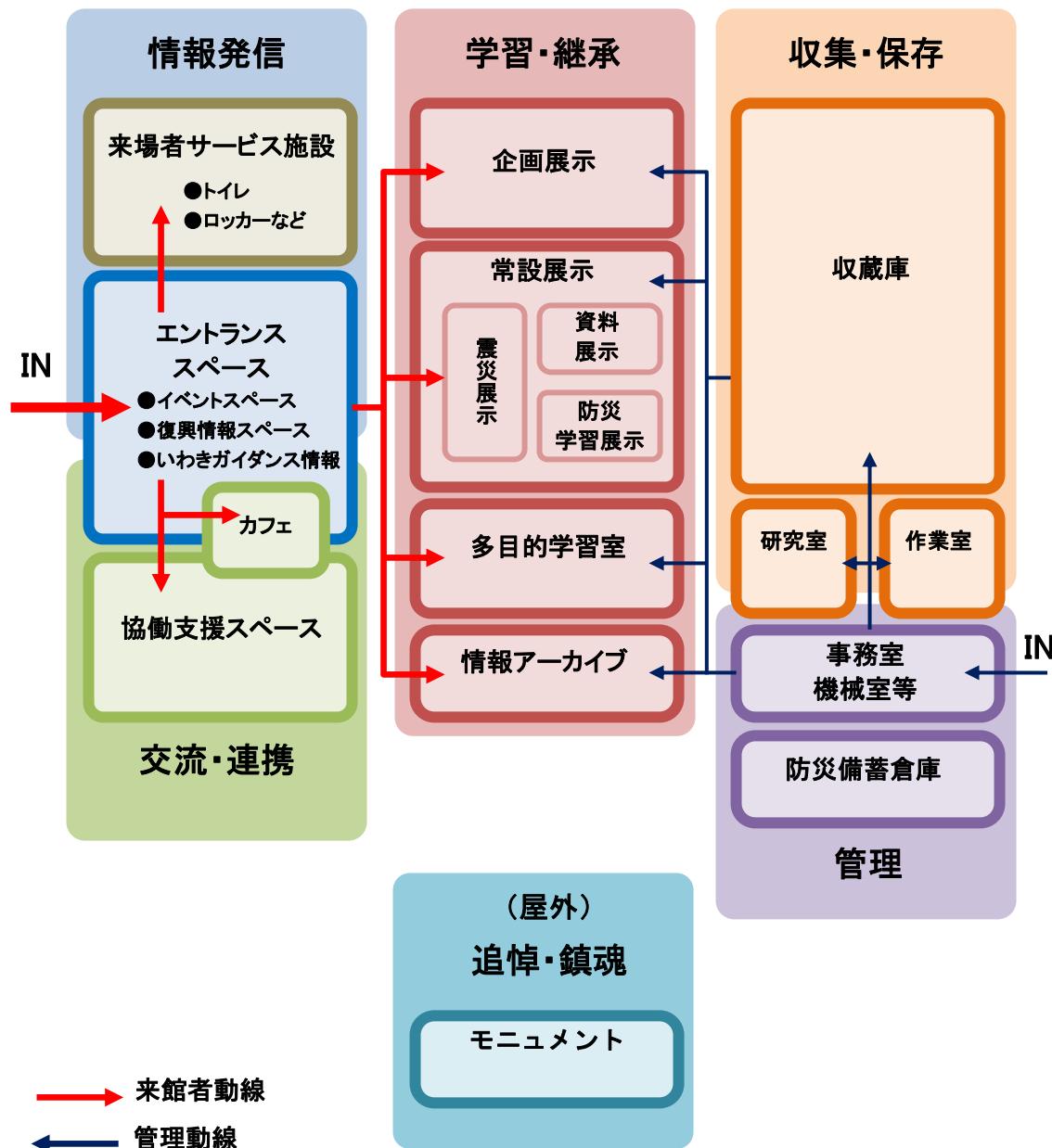
## いわき市全域をフィールドとした震災メモリアル事業の拠点

いわき市全域をフィールドに展開する震災メモリアル事業の拠点として、震災の記憶や教訓を確実に伝承し、情報発信・交流の促進によって現在進行中の復興のあゆみを共有するとともに、災害に強く活力あふれるいわき市の未来を市民とともに作る事業を展開する拠点にふさわしい施設を整備する。

【施設機能】 ア) 収集・保存 イ) 学習・継承 ウ) 交流・連携 エ) 情報発信 オ) 追悼・鎮魂

施設構成[概念図]

【施設概念図】

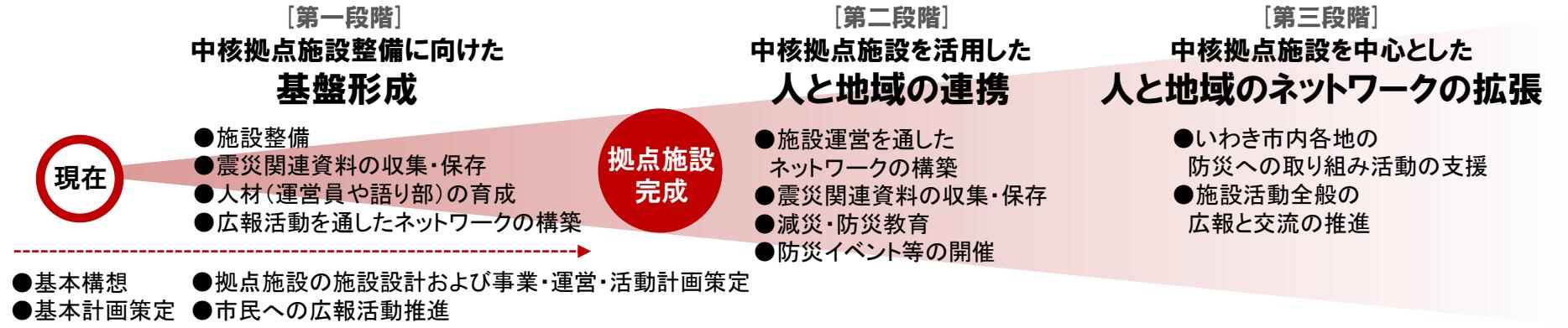


【施設構成】

	諸室	概要
情報発信	屋外イベントスペース	いわき市の魅力と復興の現在の姿を広く発信する地域イベントや防災イベントの開催。
	屋内イベントスペース	展示や公開セミナーなど、インドア型のイベントを展開。エントランススペースの一部を活用。
	エントランススペース	施設のエントランススペース。公開イベントなどの開催により、情報発信スペースとして活用。
	復興情報スペース	原発被災地域の情報を含め、復興状況に関する最新の情報を提供。
	いわきガイドンス情報 トイレ・ロッカーなど	市内の震災遺産や自然・歴史文化などの地域資源に関する情報を展示。 来場者サービス施設。
交流・連携	カフェ	復興や防災、いわきのまちづくりに関するトークイベントや交流イベントなどを開催。
	協働支援ルーム	いわき市の市民、事業者などの復興まちづくり活動の拠点として使用できる多目的活動スペース。
学習・継承	常設展示室	震災展示 震災の全体像を解説する。 資料展示 収集資料を展示。 防災体験学習展示 減災教育のための体験学習室。
	企画展示室	震災、防災・減災、いわきの魅力に関する企画展示。
	展示準備室	常設展示および企画展示の準備作業を行う。
	多目的学習室	学習セミナーなどの開催。団体利用者に対するガイダンスルームとしても活用。
	情報ライブラリー	震災記録、報告書、研究論文、体験談などの閲覧。
	研究室	拠点施設独自の研究活動を行うスペース。
収集・保存	収蔵庫	いわき市の震災資料を収集・保管する。
	作業室	資料の荷解き・整理、写真撮影、研究作業などを行う。
	研究室	拠点施設独自の研究活動を行うスペース。
鎮魂 追悼	モニュメント(屋外)	追悼と鎮魂のための場。(例: 追悼・鎮魂の鐘)
	事務室	職員事務スペース、館長室、応接室、会議室など。
管理機能	警備管理室	
	機械室	
	一般倉庫	
	防災備蓄倉庫	いわき市防災拠点として整備。
	職員用駐車場	
一般来場者用駐車場		

## 震災メモリアル事業のロードマップ

震災メモリアル事業を中心的に遂行するための中核拠点施設整備にはじまり、人と地域の結びつきを通して震災メモリアルネットワークを拡げていく展開について、3つの段階を想定する。



## 震災メモリアル事業の展開イメージ

中核拠点施設を中心として、以下3つのネットワークの活動を推進し、相互連携と活動の支援を図る。

### 1:『人と知』のネットワーク

震災の記憶や教訓の共有でつながった人々の関係を発展・強化させることで、様々な活動の自立的発展を支援する。

### 2:『震災遺産』ネットワーク

中核拠点施設に加えて各地域にサテライト機能を整備する。拠点施設と各地の震災遺産をつなぎ、活かすプログラムを整備する。

### 3:『地域資源』ネットワーク

各地の震災遺産を入口にそれぞれの地域の多彩な文化や歴史を見つめなおし、地域再発見につなげるとともに市内外に発信する。

事業全体を通して、活力あふれるいわきの未来づくりに向けて、子どもから大人まで幅広い人々と、地域がつながった魅力あふれる地域づくりムーブメントを支援する。

